

# 健民海浜公園 中期経営目標

## (実施期間 平成27年度～平成29年度)

平成27年3月 策定

### 1 施設の設置目的

都市公園は、緑のオープンスペースによる都市環境の維持・向上を図るとともに、県民の利用に供することにより、公共の福祉の増進に寄与することを目的としています。

### 2 施設の果たすべき役割

健民海浜公園は、金沢市の西方、犀川河口の砂丘地に位置する海岸林に囲まれた広域公園であり、県政百周年事業として整備されました。9種類の多様なプールは子どもから大人まで広く県民に親しまれています。また、大池周辺のクロマツ林の中に遊歩道を整備し、野鳥や植物等の観察などにも利用されています。

本公園は、健康運動、休息、散策、自然観察といった、県民の多様なレクリエーション需要に応えることを役割としています。

### 3 事業内容

#### (1) 良好な景観や環境の保全・創出

園地や施設の整備と良好な管理により、海岸林をメインとした自然景観を保全し、緑豊かな快い環境を創出します。

#### (2) 野外におけるレクリエーション活動の場の提供

9種類の屋外プールの他、野球場や多目的グラウンドでの様々なスポーツ活動などの野外活動の場を提供します。

#### (3) 自然体験・学習の場の提供

海岸林内では野鳥や四季折々の植物の観察などの野外学習の場を提供します。

#### (4) 県民参加による交流の場

公園内で開催されるイベントへの参加などを通じた交流の場を提供します。

### 4 現状と課題

#### (1) 管理運営体制について

- ・健民海浜公園では、民間のノウハウを活用して、施設を効率的・効果的に管理するため、指定管理者制度を平成18年度から導入しています。
- ・公園利用者に対する利便の提供、利用の促進、利用施設・設備、備品及び植栽等の維持管理及び修繕に関する業務などは指定管理者が行っており、当中期経営目標の実施期間である平成27年度から平成29年度までは、「T&A有限責任事業組合」を指

定管理者として指定しています。

- ・県では、利用状況や利用者からのご意見、小修繕の実施状況などの管理状況について、指定管理者より定期的に報告を受け、運営指導や財政支援を行うなど、適正な管理・運営に努めています。

- ・県は、指定管理者と調整し、老朽化した施設の更新・修繕などを実施しており、今後とも取り組みを充実させる必要があります。

## (2)施設の利用促進及びサービス(満足度)向上について

- ・都市公園の管理にあたっては、「安全・清潔で美しい空間づくり」を基本とし、芝生の刈り込み、樹木の剪定、害虫の防除などの維持管理作業を計画的かつ状況に応じて実施し、緑地環境の維持向上、来園者に気持ちよく利用していただける環境づくりに努めるとともに、利用者の増大や交流につながるイベントの開催などに努めています。今後も、これまでの実績を活かしつつ、さらに効率的、効果的な手法を研究し、取り組んでいく必要があります。

- ・健民海浜公園では、プール営業時に軽飲食店、売店（自動販売機）を設置し、サービスの向上に努めています。

- ・特に、プール営業期間中は、利用料金の割引やイベントの開催など指定管理者による自主事業を積極的に行っており、子どもから大人まで多くの方々に利用されています。

- ・他、海岸林を活用した運営を行うため、野鳥観察会の開催など指定管理者による自主事業を行っています。

- ・今後も、本公園の最大の特徴であるプールと海岸林を活かし、県民の多様なニーズへの対応やサービスの向上を図っていく必要があります。

- ・良好な海岸林を保全するため、松くい虫による松枯れ対策として、被害木の伐採や樹幹注入による樹木保全を行います。

- ・広報活動として、ホームページの開設や各種マスメディアを活用した情報発信を行っており、今後とも情報発信の充実に取り組んでいく必要があります。

## (3)施設運営の効率化について

- ・県と指定管理者間で連絡体制を確立し、常に情報を共有するなど、非常時にも即時対応できるよう連携を図り、迅速かつ効率的な施設運営を行っています。

- ・今後とも、指定管理者の創意工夫に基づいた管理運営により、質の高いサービスを公園利用者に提供するとともに、管理経費の削減に努める必要があります。

## 5 中期経営目標

### (1) 中期経営目標（指定管理者が実現すべき目標）

- ①利用者数については、少なくとも現状の水準を下回らないよう更なる利用促進に努めます。
- ②利用者アンケートによる満足度において、利用者サービスは95%以上を目指し、施設の維持・管理は85%以上を目指します。

### (2) 測定指標と目標値

測定指標		H25実績値	目標値(H29)
①利用者数		168,465人	169,000人
②プール利用者数		107,817人	108,000人
③利用者アンケートにおける満足度	利用者サービス	91.7%	95%以上
	施設の維持・管理	81.8%	85%以上

## 6 指定管理者が設定した目標達成に向けた具体的な取組内容

### (1) 施設の利用促進及びサービス(満足度)向上に向けた取り組み

#### ①利用促進に向けた取り組み

- ・プール営業時には、順位を競争する参加型イベント、地域団体等の地域密着型のイベントやキャラクターショーなどの開催やプール内で営業している売店の充実を図るなど魅力あるプール空間づくりを行い、利用促進を図ります。
- ・引き続き、ロッカーの無料貸し出しをします。
- ・リピーターの増加を図るため、プール営業内の売店等施設の充実を図るとともに、短時間で多数の利用者に対し、安心して安全な飲食を提供します。
- ・公共交通機関利用者への利用料金の割引やスーパーマーケットのポイント券での入場や前売り券の販売など、多様な入場サービスを展開し、利用者の拡大を図ります。
- ・プール営業期間外についても、地元未就学児による花壇への花植え体験や野鳥の観察会を開催するほか、地域スポーツチームと連携したイベントの開催など新たな自主事業も検討していきます。
- ・イベントの告知や四季折々の風景や野鳥の掲載、リアルタイムな情報提供などによりホームページを充実させるほか、プールポスターの配布やマスコミュニケーションを利用した情報を行います。

## ②利用者サービスの向上に向けた取り組み

- ・適切な接遇や安全管理が行えるよう、徹底したスタッフ教育を実施します。特にプール期間中は、盗難や不審者による盗撮などのトラブルも想定されることから警察官OBの配置など利用者の安全対策の万全を図ります。
- ・バーベキュー場では、鉄板のレンタルや食材の予約販売サービスの実施に加え、テントの設置を行うなど、利用者の増加に努めます。
- ・手ぶらで来園しても楽しめるように、プールでの浮き輪の貸し出しやスポーツ用品の貸し出しを行います。
- ・安心してボートを利用して貰えるよう、小学生に対し、ライフジャケットの着用を義務化します。
- ・利用者の声を、聞き取りやアンケート、インターネット等により幅広く収集し、管理運営に反映していきます。

## (2)施設運営の効率化に向けた取り組み

- ・イベント開催や飲食販売のノウハウ、安全な管理に関するノウハウなど2者からなる指定管理者のそれぞれの強みを活かし、効率的に管理運営し、利用環境の向上を図ります。
- ・管理運営の効率化・円滑化や次年度の計画策定資料のため、常に利用者の現状を把握します。
- ・自主事業や利用料収入により計画的な施設の維持補修を行うとともに利用者拡大のためのイベント開催を行い、快適性や魅力の向上を図ります。
- ・委託する業務については、作業日、作業内容、作業場所を明確にした上、QCD（品質、コスト、納期）を総合的に評価し、経費抑制に努めます。

## 参考資料(施設の利用状況など)

### (1)利用者数

項目	H23	H24	H25
利用者数	165,675 人	178,925 人	168,465 人
うちプール利用者数	100,376 人	117,493 人	107,817 人

### (2)有料施設の利用状況と収入の実績

#### プール

H23		H24		H25	
利用件数	収入	利用件数	収入	利用件数	収入
85,918 件	35,175 千円	101,144 件	41,238 千円	92,063 件	37,196 千円

#### 駐車場

H23		H24		H25	
利用件数	収入	利用件数	収入	利用件数	収入
26,335 件	10,517 千円	31,287 件	12,513 千円	27,782 件	11,110 千円

#### ボート

H23		H24		H25	
利用件数	収入	利用件数	収入	利用件数	収入
877 件	263 千円	984 件	295 千円	1,115 件	335 千円